

枝分かれする世界

無味乾燥

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

これは、不幸で幸福な少年たちの物語。神の試練を受けた少年の、もしものお話。

目次

枝分かれする世界

1

枝分かれする世界

例えば、世界がいくつもあつたとしよう。

例えば、世界に神がいたとしよう。

例えば、神はとても慈悲深かつたとしよう。

例えば、神はとても厳しかつたとしよう。

例えば、世界のどこかにとっても貧しいところがあるとしよう。

例えば、そこに貧しい少年がいたとしよう。

例えば、その少年はほかの孤児を育てていたとしよう。

例えば、少年は今にも死にそうになりながら孤児たちを育てていたとしよう。

例えば、そんな少年を見兼ねた神がいたとしよう。

例えば、ある日少年のもとに神が舞い降りたとしよう。

例えば、その神が少年にこう問うたとしよう。

「貴様は、貴様たちは何を望む？」

例えば、少年がこう答えたとしよう。

いくつもの世界の、幾人もの少年が、こう答えたとしよう。

「食べ物、食べ物が欲しい。おなかいっぱい食べられるだけの食べ物」
「服、服が欲しい。冬の厳しい寒さにも耐えられる服が」
「お金、お金がほしい。そうすればあの子たちに食料も衣服も買ってあげられる」

「安寧、安寧がほしい。心も体も傷つかなくていいような」

「力、力がほしい。あの子たちを守る力。この世界を変えられる力」

例えば、その神が少年に救いを与えたでしょう。

例えば、その神が少年に試練を与えたでしょう。

例えば、その答えに神はこう言ったでしょう。

「ならば、貴様が育てているすべての孤児を殺せ。さすれば望みのものをくれてやろう」

「ならば、自らを殺せ。さすれば望みの物をくれてやろう」

「さあ、どちらでも選ぶがよい」

例えば、少年は こう答えを出したでしょう。

いくつもの世界の、幾人も少年が、こう答えを出したでしょう。

「私は私を殺しましょう。そして、どうか、あの子たちに恵みを」

「私はあの子たちを殺しましょう。そしてどうか私に恵みを」

そして、少年は殺したとしよう。

いくつもの世界の、幾人もの少年が、自らを、あの子たちを。

そして、神は恵みを与えたもうた。

とても厳しく、だが、とても慈悲深く。

ある世界では、望むものは何もないと、今のままで十分幸せだと。そう答えた少年がいた。

ある世界では、誰かが死ぬなら、誰かを殺さないといけない恵みなら、私はいらぬ。そう答えを出した少年がいた。

でも、世界は無数にある。

もしかしたら、神の救いに心を折られ、孤児たちを、そして自分を、一緒に殺したかもしれない。

もしかしたら、神の試練に怒りを覚え、反逆したかもしれない。

もしかしたら、神が少年の前に現れなかつた世界もあったかもしれない。

これは、とある世界の、ありえたかもしれない世界のお話。

これは、運の良かった世界のお話。